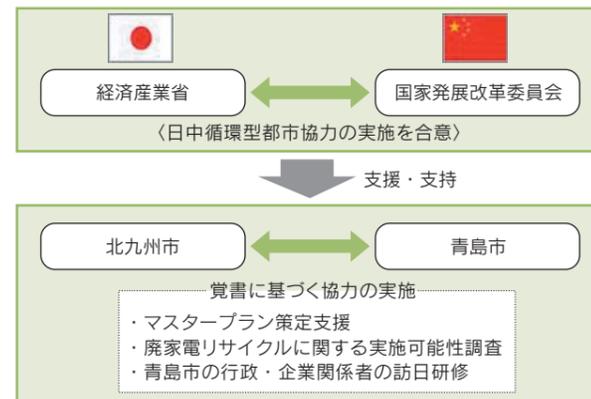


4. 中国における循環型都市協力の実施

(1) 背景と経緯

現在、中国政府は、急速な経済成長を背景に、環境・経済・資源政策を一体的に進める「循環型経済政策」を推進しており、日本のエコタウン事業を先例とした静脈産業園（中国版エコタウン）の建設が始まっています。こうした中、平成 18 年（2006 年）12 月に甘利経済産業大臣が訪中した際、中国政府よりエコタウンに関する協力要請がなされ、日本の自治体が持つエコタウン運営のノウハウを活かした協力が行われることになりました。

経済産業省からの照会を受け、北九州市は、北九州エコタウンに近い形の静脈産業園を計画する中国唯一の都市であり、東アジア経済交流推進機構を通じた長年の交流実績がある青島市との協力を申請し、平成 19 年（2007 年）6 月の日中 3R 政策対話において、「日中循環型都市協力」としての実施が政府間で合意されるに至りました。



(2) これまでの取組

ア. 覚書の調印

平成 19 年（2007 年）9 月、北京で行われた「第 2 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」において両市副市長が覚書に調印し、協力事業がスタートしました。

イ. 実施体制

日中政府間の協力の枠組みのもと、日中両国の学識経験者、企業、行政による合同委員会が組織され、相互に見解交換しながら検討が進められました。

ウ. 協力の内容

(ア) 実施可能性調査

青島市で実施されている廃家電リサイクル事業について、現地調査を行い、リサイクルを高度化するための技術導入等の可能性を検討しました。



(イ) 人材育成研修

青島市の行政・企業関係者が来日し、日本の循環型社会構築に関する法制度・政策、リサイクル産業などを学ぶ研修を実施しました。

(ウ) 成果発表セミナー

両市の行政関係者、合同委員会委員、一般公募者の参加によるセミナーを開催し、事業の成果報告とパネルディスカッションを行いました。

(3) 今後の展開

平成 20 年度も引き続き青島市と協力し、主にマスタープラン策定に対する支援を行う予定です。

また、新たに天津市とも日中循環型都市協力事業を実施することになりました。この協力は、平成 19 年（2007 年）の福田首相の天津訪問をきっかけに実現したものであり、両市長による覚書の交換は、平成 20 年（2008 年）5 月、首相官邸において、来日中の胡錦濤国家主席と福田首相の立会いのもとで行われました。

北九州市は、エコタウン事業の経験を活かしてこれらの事業に参画することにより、中国における循環型社会の構築に貢献するほか、世界の環境首都としてのブランドイメージ向上も図りたいと考えています。また、協力事業と並行して環境関連企業によるビジネス交流を促進することにより、将来的には市内企業のビジネスチャンス拡大につながることも期待されています。



首相官邸における覚書の交換（平成 20 年 5 月）

5. 食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業

(1) 背景

バイオマスとは、生物資源の量をあらゆる概念で、「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石燃料を除いたもの」と定義されています。バイオマスは、「再生産可能」、「カーボンニュートラル（バイオマス資源の燃焼等により放出される二酸化炭素は、生物の成長過程で光合成により大気中から吸収した二酸化炭素であることから大気中の二酸化炭素を増加させない）」といった特徴があるため、地球温暖化対策に有効な資源です。

海外では、農業政策と連携して、とうもろこし等の穀物を原料としてバイオマス由来のエタノール燃料（バイオエタノール）を製造しており、その結果、穀物価格の高騰を招き、世界的な問題となっています。

本市では、産業都市としての地域特性を活かし、「食品廃棄物」や「下水汚泥」等を都市型のバイオマス資源ととらえ、これらバイオマス資源の有効活用の可能性を検討してきました。

(2) 実験事業の概要

本市では、新日鉄エンジニアリング(株)が NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託を受け、食品廃棄物からバイオエタノールを製造する実験事業を平成 17 年度から実施しており、平成 19 年 6 月からプラント運転を伴う本格的な実験を開始しています。

食品廃棄物の大規模排出事業者（デパート、スーパー、ホテル等）や、モデル的に一部の小規模排出事業者等（病院、小学校、商店街、一般家庭）から食品廃棄物を受け入れ、食品廃棄物中のご飯やパンなどの炭水化物を糖化後、酵母によりエタノール発酵させるプロセスを活用し、食品廃棄物からエタノールを製造する技術を確認する実験を行っています。

さらに、製造したエタノールは平成 20 年度から、自動車燃料（E3 ガソリン）等として利用することにより、廃棄物系バイオマスの収集運搬、エネルギー化、最終利用までの一貫した実験を行います。

◇設置場所

- エタノール製造装置
若松区響町 1 丁目 62 番地 20
北九州エコエナジー(株)敷地内
- E3 ブレンド装置
若松区向洋町 10 番地 12
新日鉄エンジニアリング(株)
北九州環境技術センター敷地内

◇施設能力

エタノール製造量 約 400L / 日
(生ごみ 約 10t / 日を利用)

(3) 実験事業の特徴

ア. 2 室分別収集車

大規模排出事業者に対して、2 室分別収集車を使用し、食品廃棄物とその他の可燃物を 1 台のパッカー車で同時に収集することによって、収集運搬コストの上昇を防ぐ実験を行っています。



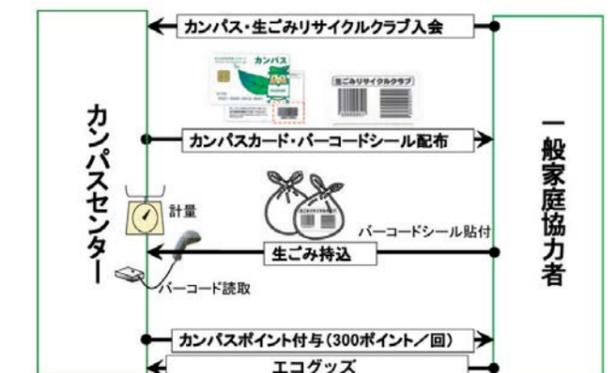
イ. 焼却工場の余剰廃熱を利用

エタノール製造時に、隣接する北九州エコエナジー(株)の焼却施設から電力、余剰廃熱の提供を受け、エタノール残渣を同社で処理することによって製造原価の低減を目指しています。

ウ. 市民参加型の実験事業

本実験事業は、「北九州市民環境パスポート（カンパス）事業」と連携した市民参加型の実験事業となっています。モデル地区として、八幡東区の中央区商店街、祇園町商店街、若松区の明治町商店街に「カンパスセンター」を設置し、一般家庭で分別した生ごみの受け付けを行っています。

生ごみ分別排出に協力いただくには、「北九州市民環境パスポート」及び「生ごみリサイクルクラブ」への登録が必要です。登録していただいた市民の方には、バーコードシールを配布しています。生ごみを入れた袋にバーコードシールを貼付け、カンパスセンターに持ち込んでいただくと、1 回あたり 300 ポイントのカンパスポイントが取得できます。貯まったポイントはエコグッズに交換が可能です。



6. 3R 推進全国大会の開催

(1) 大会概要

リデュース (Reduce・発生抑制)・リユース (Reuse・再利用)・リサイクル (Recycle・再資源化) の 3R 活動の推進を通じて、資源の浪費を抑え、環境負荷を小さくする循環型社会づくりに取り組んでいくため、市民、事業者、行政が一堂に会し、それぞれの 3R に関する知識や実践活動の情報を交換するとともに、ごみの減量やリサイクルなどに関する理解を深めることを目的とした第 2 回 3R 推進全国大会が本市で開催されました。

会期中は、市内外から約 16 万人もの方々にお越しいただき、大会式典会場もすぐに人で埋め尽くされるなど、環境問題、3R に対する関心の高さが窺えました。

また、本市ではこの大会を機に、「北九州市 3R 活動推進表彰」を創設しました。3R 活動に積極的に取り組む個人や団体を支援することで、継続的に活動の輪を広げていく等、循環型社会づくりに向けた取組を着実に進めていきます。

(2) 主催

環境省・福岡県・北九州市・3R 活動推進フォーラム

(3) 各イベント概要

ア. 式典

日程：平成 19 年 10 月 18 日 (木)

会場：リーガロイヤルホテル小倉

イ) 表彰式

3R 促進ポスターコンクール環境大臣表彰をはじめ、循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰などのほか容器包装廃棄物排出抑制推進員 (地方推薦 3R マイスター) の委嘱も行われました。

ロ) 特別講演

『課題先進国』日本からの発信『3R』

講師：3R 活動推進フォーラム会長 小宮山 宏氏
(東京大学総長)

ハ) 記念講演

「私たちにできる身近な『3R』」

講師：エッセイスト 安藤 和津 (かず) 氏

ニ) 大会宣言

北九州ドリームサミット (中学生議会) による宣言

イ. イベント

ロ) 3R & グリーン購入ネットワークフェア

日程：10 月 17 日 (水) ~ 19 日 (金)

会場：西日本総合展示場

エコ・テクノ 2007 の会場内で 45 ブースを展開。

NPO、事業者、行政がそれぞれの 3R への取組を発表しました。



ロ) セミナーの開催 (西日本総合展示場)

『九州グリーン購入ネットワーク・福岡』設立セミナー in 北九州 (10 月 17 日 (水)) や、「菜の花を楽しもう! 誰でもできる BDF セミナー」(10 月 19 日 (金)) など、各種セミナーを開催しました。

ハ) 3R フェア

日程：10 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日)

会場：エコスタイルタウン会場 (北九州市庁舎周辺)
(ブースの出展)

環境省・3R 活動推進フォーラム・北九州市による 3R に関する展示を 6 ブースで実施。「わたしがつくったマイバッグ」受賞作品の展示や、ごみの分別セミナー、家電用品の環境負荷実験などに多くの方が参加されました。



ニ) ふろしきの包み方セミナー開催

日程：10 月 20 日 (土)

会場：西部ガスリビングスタジオ hinata (ヒナタ) 北九州
北九州市環境ミュージアムと連携し、講師に諸藤見代子氏 (環のまなび工房代表) を迎えて実施しました。この講座や式典で配布したパンフレットは、「ふろしき研究会」に監修していただき作成しましたが、わかりやすいイラストなどがとても好評でした。

ウ. 関連イベント

ロ) 北九州市 3R 活動推進表彰

日程：10 月 20 日 (土)

場所：エコスタイルタウン会場

本市で 3R 推進全国大会が開催されるのを機に、市内で 3R 活動に取り組む個人や団体を表彰する制度を創設し、4 部門で 42 の団体が表彰されました。

- ・3R 活動推進表彰
- ・古紙リサイクル賞
- ・資源化・減量化優良事業所賞
- ・レジ袋削減賞



ロ) その他のイベント

- ・環境省中央環境審議会・循環型社会計画部会 (10/18)
- ・ごみゼロふくおか推進大会 (10/18)
- ・東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)・北九州市共催シンポジウム～北九州から東アジアの循環型社会を考える～ (10/20)



7. こどもエコクラブ全国フェスティバル in 北九州

(1) 背景

北九州市は、こどもエコクラブ活動を平成 7 年度から開始しました。平成 16 年度には、創設以来全国一を誇る会員数となり、環境大臣から感謝状を授与されました。そのような成果を踏まえ、年に 1 度全国各地のこどもエコクラブが集まり、交歓・交流する全国フェスティバルを北九州市で開催しました。

◆全国フェスティバル開催地一覧表

	開催地	開催日
第 1 回	横浜市	H 8 .3.23
第 2 回	川口市	H 9 .3.28~29
第 3 回	名古屋市	H10.3.28~29
第 4 回	北九州市	H11.3.27~28
第 5 回	長野市	H12.3.25~26
第 6 回	草津市	H13.3.24~25
第 7 回	小田原市	H14.3.23~24
第 8 回	佐世保市	H15.3.29~30
第 9 回	仙台市	H16.3.27~28
第 10 回	美浜町・半田市	H17.3.26~27
第 11 回	亀山市	H18.3.25~26
第 12 回	横須賀市	H19.3.24~25
第 13 回	北九州市	H20.3.29~30

(2) 目的

全国の「こどもエコクラブ」の関係者が一堂に会し交流を深めるとともに、各地で展開されている活動の紹介を通して、「こどもエコクラブ」事業をはじめとする環境保全活動の定着拡大を目的としています。

(3) 取組

- ・期日：平成 20 年 3 月 29 日 (土)・30 日 (日)
- ・会場：西日本総合展示場新館 他



3 月 29 日 (土)
エコツアー植樹体験



3 月 30 日 (日)
ステージイベント
さかなクン
トークショー